

初版作成日：2025/11/19

改訂日：2026/02/18

安全データシート

1 化学品及び会社情報 化学品の名称

製品名称：エアコン防カビ抗菌スプレー エアコン洗浄プロ 606JET

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：防カビ・抗菌コート

使用上の制限：業務用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：コーイング株式会社

住所：愛知県名古屋市千川区伏屋 1-807-1

電話番号：052-431-9070

FAX：052-431-9071

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール：区分 2

健康に対する有害性

生殖細胞変異原性：区分 1

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（肝臓、呼吸器、骨髄、腎臓、脾臓、副腎）

（注）記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H223 可燃性エアゾール

H229 高圧容器：熱すると破裂のおそれ

H340 遺伝性疾患のおそれ

H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓、呼吸器、骨髄、腎臓、脾臓、副腎）

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- P264 取扱い後は接触部位をよく洗うこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。
- 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使用中噴射剤が噴出する構造のもの（火災発生状態試験による火災が認められるもの又は噴射剤として可燃性ガスを使用しているもの）

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- 炎や火気の近くで使用しないこと。
- 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上の所に置かないこと。
- 火の中に入れていないこと。
- 使い切って捨てること。
- 高圧ガス：
 - DME

特定の物理的及び化学的危険性

- 高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。
- 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化管法 管理番号
グリコール系溶剤	非公開	非公開	非公開	-
ウレタン樹脂	1 - 10	非公開	非公開	-
水溶性樹脂	非公開	非公開	非公開	-
抗菌剤	非公開	非公開	非公開	-
N-メチル-2-ピロリドン (ウレタン樹脂に含有)	1.4	872-50-4	5-113	管理番号 746
水	残量	7732-18-5	-	-
ジメチルエーテル	25 - 35	115-10-6	2-360	-

安衛法「表示すべき有害物」該当成分、「通知すべき有害成分」該当成分の含有量は営業機密です。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

N-メチル-2-ピロリドン，

ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

N-メチル-2-ピロリドン，

ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

N-メチル-2-ピロリドン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分の戻らない時は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚に付着した場合：多量の水/石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹼でよく洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合は医師の診察/手当てを受けること。

子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診察/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

この製品自体は燃焼しない。

初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし 特有の危険有害性

当該製品は着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

火の中に入れてはいけないこと。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

(注意事項)

製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。

裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。

容器を接地(アース)すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

火花を発生しない工具を使用すること。

防爆型の電気機器(換気装置、照明機器等)を使用すること。

規定時間以上噴射しないこと

火気を使用している室内で使用しないこと

人体に向かって噴射しないこと、また噴射気体を直接吸入しないこと

取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。

取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

接触回避

強酸化剤

衛生対策

- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- 取扱い後は接触部位をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
- 製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
- 日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。

(避けるべき保管条件)

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置 管理指標

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

(N-メチル-2-ピロリドン)

1ppm; 4mg/m³ (皮)

ACGIH

設定されていない

ばく露防止

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、不浸透性手袋、ビニール手袋等を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護前掛け等を着用する。必要に応じて、耐溶剤性保護衣、不浸透性保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色～黄色微濁

臭い：原料臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：データなし

沸点範囲データなし

可燃性データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：燃焼しない 自然発火点データなし

分解温度データなし pH：8.5

動粘性率データなし 溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度：1.01

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

蒸発速度データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。

避けるべき条件

加熱・熱源・裸火

強酸化剤との接触を避ける。

高温へのばく露 混触危険物質

強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと。)

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報 毒性学的影響に関する情報

急性毒性 急性毒性（経口）

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

ラット LD50: 5400 - 5500 mg/kg (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

ラット LD50: 3500 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性（経皮）

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

ウサギ LD50: 4200 mg/kg (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

ラット LD50: > 5000 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性（吸入）

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

ミスト: ラット LC50: 5.24 mg/L (4 時間) (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

エアロゾル: ラット LC50: > 5.1 mg/L (4 時間) (出典: NITE)

(ジメチルエーテル)

ガス: ラット LC50: 164000 ppm (4 時間) (出典: NITE)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(N-メチル-2-ピロリドン)

区分 2 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

区分 2B (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

区分 2A (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 1, 遺伝性疾患のおそれ

発がん性データなし

生殖毒性

[製品]

追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(N-メチル-2-ピロリドン)

区分 1B (出典: NITE)

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(N-メチル-2-ピロリドン)

区分 3 (麻酔作用) (出典: NITE)

(ジメチルエーテル)

区分 3 (麻酔作用) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(N-メチル-2-ピロリドン)

区分 2 (骨髄、肝臓、神経系、肺) (出典: NITE)

[会社固有データ]

(ウレタン樹脂)

区分 1 (肝臓、呼吸器、骨髄、腎臓、脾臓、副腎)

誤えん有害性データなし

[成分データ] 水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

甲殻類 (オオミジンコ) 48 時間 LC50: 3340 mg/L (出典: NITE)

魚類 (アメリカナマズ) 96 時間 LC50: 6010 mg/L (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

藻類 (セネデスマス) 72 時間 EC50: > 500 mg/L (出典: NITE)

甲殻類 (オオミジンコ) 24 時間 EC50: > 1000 mg/L (出典: NITE)

魚類 (ニジマス) 96 時間 LC50: > 500 mg/L (出典: NITE)

(ジメチルエーテル)

魚類 (グッピー) 96 時間 LC50: > 4000 mg/L (出典: NITE)

甲殻類 (オオミジンコ) 48 時間 EC50: > 4000 mg/L (出典: NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

[NITE-CHRIP]

(グリコール系溶剤)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) 7 日間 NOEC (繁殖): 7.38 mg/L (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

甲殻類 (オオミジンコ) 21 日間 NOEC (繁殖、致死): 12.5 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(グリコール系溶剤)

非常によく溶ける (出典: ICSC, 2004)

(N-メチル-2-ピロリドン)

難水溶性でない (100000 mg/L) (出典: NITE)

(ジメチルエーテル)

難水溶性でない (46000 mg/L) (出典: NITE)

残留性・分解性(BOD・COD)

[成分データ]

(グリコール系溶剤)

急速分解性あり (出典: NITE)

(N-メチル-2-ピロリドン)

急速分解性あり (分解度: 73%, 94% (by BOD); 96% (by TOC); 100% (by GC)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(グリコール系溶剤)

log Pow: -0.15 (概算) (出典: ICSC, 2004)

(N-メチル-2-ピロリドン)

log Pow: -0.38 (出典: ICSC, 2014)

(ジメチルエーテル)

log Pow: 0.1 (出典: ICSC, 2002)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

エアゾル製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使い切って捨てること。

汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

14. 輸送上の注意 国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号：1950

正式輸送名：

エアゾル、可燃性 (容積が 1L 以下で、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分：

2.1 容器等級：該当しない

指針番号: 126

特別規定番号：63; 190; 277; 327; 344; 381

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号または ID 番号：1950

正式輸送名：

エアゾル、可燃性 (容積が 1L 以下で、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分：2.1

副次危険：See SP63

容器等級：該当しない

特別規定番号：63; 190; 277; 327; 344; 381; 959

IATA (航空危険物規則書)

国連番号または ID 番号：1950

正式輸送名：

エアゾル、可燃性 (容積が 1L 以下で、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。)

分類または区分：2.1

危険性ラベル：Flamm. Gas

容器等級：該当しない

特別規定番号：A145; A167; A802

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当)：非該当

特別の安全対策

容器の破損、漏れがないことをたしかめる。

荷くずれ防止を確実にを行う。

該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

直射日光を避ける。

水漏れ厳禁。

横積み厳禁。

夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

MARPOL 条約附属書 V - HME(海洋環境に有害)

生殖細胞変異原性: 区分 1, 1A, 1B 該当物質

ウレタン樹脂

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分 1 該当物質

ウレタン樹脂

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類 2 区分 2.1

航空法

高压ガス 引火性ガス 分類 2 区分 2.1

15 . 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

N-メチル-2-ピロリドン(規則別表第 2 の 2108); ジメチルエーテル(規則別表第 2 の 1011,令和 8 年 4 月 1 日施行)

名称通知危険/有害物

N-メチル-2-ピロリドン(規則別表第 2 の 2108);

ジメチルエーテル(規則別表第 2 の 1011,令和 8 年 4 月 1 日施行)

皮膚等障害化学物質 (規則第 594 条の 2)

N-メチル-2-ピロリドン 化学物質管理促進(PRTR)法

第 1 種指定化学物質

N-メチル-2-ピロリドン(1.4%)[(管理番号 746)(1.4%)]

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

グリコール系溶剤(通し番号 110 人健康影響); N-メチル-2-ピロリドン(通し番号 136 人健康影響)

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第 2 条第 4 項

グリコール系溶剤; N-メチル-2-ピロリドン

16 . その他の情報 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

許容濃度等の勧告 (2024年度) (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

※注意 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) (令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。